

# 高次脳機能障害とは

脳の病気(※)、脳外傷などで 脳に損傷を受け、言語・思考・記憶・行為・学習・注意などの障害により、日常生活・社会生活に支障がでてしまう障害を「高次脳機能障害」と言います。

この障害は 外見からは分かりにくく、その人の行動に現れるので見えない障害といわれています。

(※) 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、脳腫瘍、低酸素脳症、脳炎など

<症状の一例> \* 下記以外にも様々な症状があります

## 記憶障害

「覚える」「思い出す」ができなくなる  
など



友人と会う約束を忘れてしまった。いつそんな約束をしたのか思い出せない

## 注意障害

集中が続かない  
色々なところに意識が行ってしまう  
など



料理中に、テレビに夢中になり、火を消し忘れてしまった

## 発動性の低下

気力がない  
ボーっとしている  
など  
(周囲に怠けていると思われがち)

趣味だった映画鑑賞も行かなくなり、家でボーっとしている



## 遂行機能障害

計画を立てて行動することが困難  
優先順位を考えた行動が困難 など

一つの仕事に、前はこんなに時間がかからなかったのに。。



## 失語症

相手の話している内容が理解できない  
言葉がでない  
など



頭では思っていることが、言葉に出てこない

## 抑制の欠如

我慢ができなくなる  
食べる・買うなどの行動が頻繁になる  
など

出かけるたびに お菓子を買ってきてしまう



## 感情コントロールが困難

すぐに怒りだす(易怒性)  
落ち込みやすい  
など

前は穏やかな人だったのに、すぐ怒鳴るようになった



## 半側空間無視

左側の物を見落とす、気づかない  
など

食事をするとき、左側を食べ残すようになった



## 病識の欠如(セルフモニタリングの欠如)

自分の状態に気づけない  
病識がないので、今まで通り何も問題ないと思っている  
など

できんと思って、仕事を引き受けただけど、失敗ばかり。なんでだろう?



その症状にあった対応の工夫や、周囲の方々の理解によってトラブルを防ぎ、日常生活や社会参加での不安を軽減することができます。

